

おもしろ教室だより

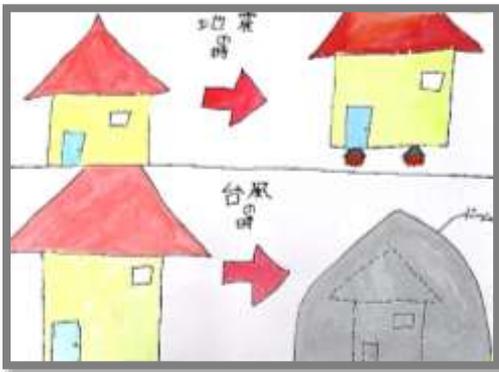
令和4年12月発行
No.145
三川少年少女
発明クラブ事務局

受賞おめでとうございます

第19回山形県未来の科学の夢絵画展

さまざまな発想で未来の夢を描いた作品のうち、1作品が受賞しました。
受賞作品は全国展に推薦出品中です。(応募総数 312 点)

やったね!



優良賞



「災害ハウス」太田 大翔くん (横山小5年)

地震がきても台風がきても大丈夫な家です。地震だったら地面から浮いて、台風だったら家の周りのドームができて、大切な家族を守ってくれます。

行ってきました

見たことあります



三洋さんの工場見学

12月3日(土)は14人のクラブ員が、町内にある(株)三洋さんを訪問しました。普段は入ることができない工場や開発室に入り、さまざまな装置や機械、開発途中の製品を間近で見ることができました。「ここで作ってたんだ」「すごいアイデア」「商品になる前の状態を見れるとは」と驚いていました。

また、アイデアを商品化するまでには何人もの人が関わり、繰り返し改良することも知り、発明クラブでの活動そのもののようにも感じていました。

最後に恒温室ではマイナス30℃の世界に入って“ヒモの瞬間冷凍”を体験し、忘れられない活動日となりました。



試験中の商品がたくさん



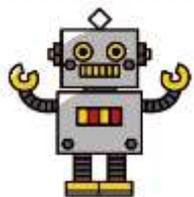
ぼくセンパイです



凍ったよ



ピン



ロボット制作



12月17日(土)の活動日はロボット制作に取り組みました。今年のロボットは2チャンネルリモコンで操作する「ツイストクローラー」です。どんな悪路でも乗り越えるワイルドなキャタピラー車です。



教室に入るなり、指導員が組み立てたサンプルロボットを操作してみたクラブ員たちは“ワクワク感”が一気に高まり、早速制作にとりかかりました。それぞれ説明書をしっかり見ながら部品やネジを確認して、一つ一つていねいに組み立てていました。ロボット制作が初めてのクラブ員も最初は工具の使い方に悪戦苦闘していましたが、指導員に聞きながらすすめていきます。



**発明クラブ公式
インスタグラム**
活動の様子などをお伝えします!



MIKAWA_HMC

また、分からないところは積極的に質問して、全員が集中して取り組みました。友達同士で教え合ったり理解したり、落としたネジを探すのに協力したりする場面もあちらこちらで見られました。

なお、今年度の計画では2回の活動日のうち、1回目が中止になってしまったため、今回だけで完成させることはできなかったのですが、ただ一人！石栗淳くんは完成。お見事でした。みんなから「淳くんすご〜い」「さすが淳くん」と言われていました。みなさんもお家で引き続き作ってみてね。

